

福島県社会福祉事業団

まぶら

2021 Vol.77

表紙写真：剣桂(西郷村)



理事長あいさつ

社会福祉法人福島県社会福祉事業団

理事長 太田 健三

初冬の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

はじめに、「新型コロナウイルス」についてでございますが、昨年からの流行は続いており、未だに収束が見通せない状況にあります。全国の新規感染者数は、今年九月頃から減少傾向となり、昨年の夏以降で最も低い水準となっておりますが、年明けには感染の第六波を迎えるとの予測もあり、予断を許さない状況です。当事業団は「感染症は施設に持ち込まない」という役割員の強い意志を継続し、ワクチン接種を含め、様々な感染防止に努めて参りました。今後も施設を利用されるお客様を守るため、感染防止に万全を期す所存でございます。

次に、「福島県浪江ひまわり荘」につきましては、関係者の皆様のご尽力により、今年三月、新たな仮設施設が完成し、四月には、無事に開所を迎えることができました。東日本大震災と福島第一原発事故による避難から十年が経ったこの節目に開所できたことは、大きな喜びであり、感慨深いものがございます。今後、お客様には、ゆったりとした空間の中で、充実した生活を送っていただけるものと思っております。

そして「福島県やまぶき荘移転改築事業」につきましては、設計担当業者が決定し、基本設計・実施設計に着手したところであり、お客様が快適に利用できる特別養護老人ホームとなるよう、取り組んで参ります。また、福島県の指定管理施設である「福島県けやき荘」及び「福島県かしわ荘」の建替計画につきましては、県による建設用地の造成工事が終了し、現在、福島県けやき荘の建築工事が着工されました。当事業団としましては、計画が円滑に進行し、一日も早く、新たな施設が完成できるように県及び関係機関との連携を図って参りたいと考えております。

最後に、新型コロナウイルスの他、「想定外」の地震や台風などの自然災害にも万全を期し、今後もおお客様の「安全・安心」を第一に、地域社会の一員として、法人の使命を果たすべく、果敢に挑戦して参りますので、皆様には一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



コロナ禍における研修の大切さ



当事業団では、次世代を担う職員の成長と組織力の強化を図るため、キャリアパスに応じた計画的な職員育成を推進しています。法人内での階層別研修の他、権

利擁護やリスクマネジメント等、サービスの質の向上を始め、メンタルヘルスやハラスメント等職場環境に関するもの、強度行動障がいや認知症等専門的知識・技術の習得を図るものなど、今、福祉職に求められるものをタイムリーに取り上げることが心掛けています。

昨今、新型コロナウイルスの影響による職員周のコミュニケーション不足が危惧されています。その対応として、風通しのよい職場環境づくりを推進することが重要であり、新採用から管理者を対象とする全ての階層別研修において、意見交換の場を設けることで、日常業務への効果を期待しています。

研修の開催には、感染症感染防止対策である検温や会場の換気、マスクの着用その他、意見交換時のソーシャルディスタンスの確保を徹底していますが、真剣な表情で熱く議論するなど、対面開催な

らではの大きな成果も実感しています。

受講した職員は、自分に課せられた責務を果たすための課題や取り組み等について、研修を通じて新たな気付きや学びが生まれ、研修後には笑顔で会場を後にする姿を多くみることができました。明日からの業務に向き合うパワーを少しでも充足してくれたことに、企画した甲斐があったと感じています。

昨年度から新型コロナウイルスの影響により、開催延期や規模縮小、或いはリモートで開催してきた研修スタイルでしたが、対面開催が復活しつつある中、改めて研修の必要性、さらには対面によるコミュニケーションの大切さに気付くことができました。今後も、様々な感染対策や工夫等を講じながら、職員の知識や技術のレベルアップを図り、施設を利用される方々の笑顔や満足に少しでも結び付けていきたいと考えています。



管理職対象ハラスメント研修



中間管理職研修 副理事長による講話



ソーシャルディスタンスに配慮した意見交換



基礎課程・初任者対象(新採用職員)高齢者疑似体験



福島県浪江ひまわり荘

新仮施設 オープン



開所を迎えて



福島県浪江ひまわり荘
園長 坂本 裕子

令和三年四月、新たな「福島県浪江ひまわり荘」を無事に開所できましたことは、大きな喜びであり、皆様のご協力によるものと、心より感謝申し上げます。

東日本大震災と福島第一原発事故により、浪江町から西郷村にある総合社会福祉施設「太陽の国」に避難を余儀なくされ、応急的な仮施設での施設運営が始まりました。避難生活が長期化する中、お客様の安全・安心な生活を守るため、新たな施設の建設が大きな課題でございました。

新施設は、様々な理由で入所しているお客様一人一人にとって、居心地の良い落ち着いた雰囲気のある建物であるとともに、職員にとってもより良いサービスの提供に繋がるものと思っております。

開所式はコロナ禍の影響から、規模を縮小しての挙行となりました。本来であれば、多くの皆様に新施設をご覧いただきたいところでしたが叶いませんでした。

いつか、コロナが収束し、ご覧いただける日が来ることを切に願っております。

新施設での生活も半年が過ぎ、お客様からは快適との声を多数伺っております。今後もお客様が安全に安心して暮らしていただけるよう職員一丸となって取り組んで参ります。

最後に、関係者の皆様には、避難後の長きにわたり、ご支援をいただき、改めて感謝申し上げます。特に、全国救護施設協議会を始め東北地区救護施設協議会、福島県救護施設協議会の皆様には、折に触れ、お心遣いいただきました。ご支援いただいた皆様とのご縁は有難く感じております。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



新施設について

救護施設「福島県浪江ひまわり荘」には、様々な障がいをもった方や高齢な方々が生活され、車椅子の方も増えてきています。

新施設は、どんな方々にも、自らの居場所を選択できるとともに、快適な生活を支えられるつくりとなっています。



中庭



食堂



デイ
ルーム



廊下



集会室



施設概要

- 事業内容 救護施設 ● 定員 80名
- 敷地 8,205.42㎡
- 建物 鉄筋コンクリート造平屋建
建築面積 3,175.87㎡
- 居室等 1床室(9.01㎡)8室、2床室(12.24㎡)20室、
2床室/要介護(13.94㎡)4室、
3床室(20.06㎡)8室、特別居室(15.12㎡)1室、
食堂(225.00㎡)
そのほか、集会室、一般・特別浴室
作業室、援助員室、事務室、会議室など
- 住所 〒961-8061
福島県西郷村大字小田倉字上上野原2-2
- 連絡先 TEL 0248-21-9551 FAX 0248-25-3973

役員紹介

職名	氏名	役職
理事長	太田 健三	一般財団法人太田総合病院理事長
副理事長	佐久間 弘元	専任
常務理事	穂積 富知雄	福島県社会福祉事業団事務局長
理事	高橋 廣志	西郷村長
理事	竹之下 誠一	公立大学法人福島県立医科大学 理事長兼学長
理事	今野 静	公益社団法人福島県看護協会長
理事	伊藤 剛	福島県保健福祉部長
監事	有賀 秀晴	尙有賀会計センター代表取締役
監事	本田 陽子	学識経験者

評議員紹介

氏名	役職
安藤 保寛	福島県南保健福祉事務所 健康福祉部長
伊藤 公一	白河市保健福祉部長
鈴木 正	白河市社会福祉協議会常務理事 兼事務局長
小木 政夫	一の又行政区代表
関 靖男	福島県社会福祉協議会事務局長
佐川 滋	社会福祉法人清峰会理事 兼障害者支援施設さざなみ学園施設長
鈴木 且雪	前西郷村教育委員会教育長
中山 隆男	西郷村社会福祉協議会常務理事

令和2年度事業報告

新型コロナウイルスの感染拡大による影響が長期化する中、ウイルスからお客様を守るため、「新型コロナウイルス感染症に係る指針」を策定し、感染者発生時の対応等を明確にするとともに、感染防止対策の徹底を図った。特に、職員に対しては、「施設には新型コロナウイルスを絶対に持ち込まない」という共通認識の下、拡大状況に応じて、健康管理の徹底や不要不急な外出の自粛等、自覚ある行動を求めた。

次に、福島県浪江ひまわり荘仮設施設の建設工事については、施工者及び監理者との緊密な連携を図り、予定どおり令和2年度末に竣工した。新たな仮設施設は、お客様一人一人の居場所となる落ち着いた空間と、より良いサービスを提供できる環境を兼ね備えた建物となった。

また、自主運営施設の改築については、老朽化施設改築計画に基づき、最も優先度の高い「福島県やまぶき荘」の移転改築を決定し、令和5年度の完成に向け、測量造成設計に取り組んだ。加えて、改築計画が着実に実行できるよう、県等、関係機関との調整を進めるとともに、一層の財政基盤の強化に努めた。

次に、県立社会福祉施設等の指定管理9施設の更新指定申請については、これまでの実績等が評価され、引き続き、令和3年度から5年間の再指定が決定し、全施設の継続的な経営が可能となった。

さらに、福祉人材の確保・育成が事業継続の重要課題となっている中、学校訪問や求人説明会等に加えて、求人情報サイトを活用し、求職者への積極的な情報発信に努め、新採用職員13名を確保することができた。また、人材育成については、新採用職員に対するOJT等の新人教育の推進や職員の資格取得等のキャリアアップ支援に取り組んだ。

一方、地域福祉においては、「基幹相談支援センターけんなん」を白河市内に移転したことで、より地域に密着した地域生活支援拠点としての役割を果たすことができた。また、「福島県被災地介護施設再開等支援事業」により、相双地区の高齢者施設へ職員を継続して派遣するとともに、県内高齢者施設での新型コロナウイルス感染症クラスターの発生により、関係施設へ応援職員を派遣するなど、地域貢献の役割を果たした。

令和2年度 決算報告

貸借対照表

(単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	2,134,210,153	流動負債	1,273,453,632
		固定負債	691,534,583
固定資産	7,341,100,914	負債の部合計	1,964,988,215
		純資産の部	
基本財産	2,111,565,370	基本金	10,000,000
		国庫補助金等特別積立金	2,111,848,113
		その他の積立金	2,928,123,811
その他の固定資産	5,229,535,544	次期繰越活動増減差額	2,460,350,928
		(うち当期活動増減差額)	344,888,879
		純資産の部合計	7,510,322,852
資産の部合計	9,475,311,067	負債及び純資産の部合計	9,475,311,067

資金収支計算書

(単位:円)

勘定科目		決算額
大区分		
事業活動による収支		
	事業活動収入計	5,619,911,690
	事業活動支出計	5,153,615,204
	事業活動資金収支差額	466,296,486
施設整備等による収支		
	施設整備等収入計	732,062,682
	施設整備等支出計	1,300,533,052
	施設整備等資金収支差額	△ 568,470,370
その他の活動による収支		
	その他の活動収入計	1,263,149,518
	その他の活動支出計	982,809,051
	その他の活動資金収支差額	280,340,467
当期資金収支差額合計		178,166,583
前期末支払資金残高		980,026,234
当期末支払資金残高		1,158,192,817

事業活動計算書

(単位:円)

勘定科目	決算額
大区分	
サービス活動増減の部	
サービス活動収益計	5,589,619,174
サービス活動費用計	5,260,340,847
サービス活動増減差額	329,278,327
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益計	30,292,516
サービス活動外費用計	6,335,286
サービス活動外増減差額	23,957,230
経常増減差額	353,235,557
特別増減の部	
特別収益計	734,454,582
特別費用計	742,801,260
特別増減差額	△ 8,346,678
当期活動増減差額	344,888,879
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額	1,833,626,204
当期末繰越活動増減差額	2,178,515,083
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	1,177,553,345
その他の積立金積立額	895,717,500
次期繰越活動増減差額	2,460,350,928

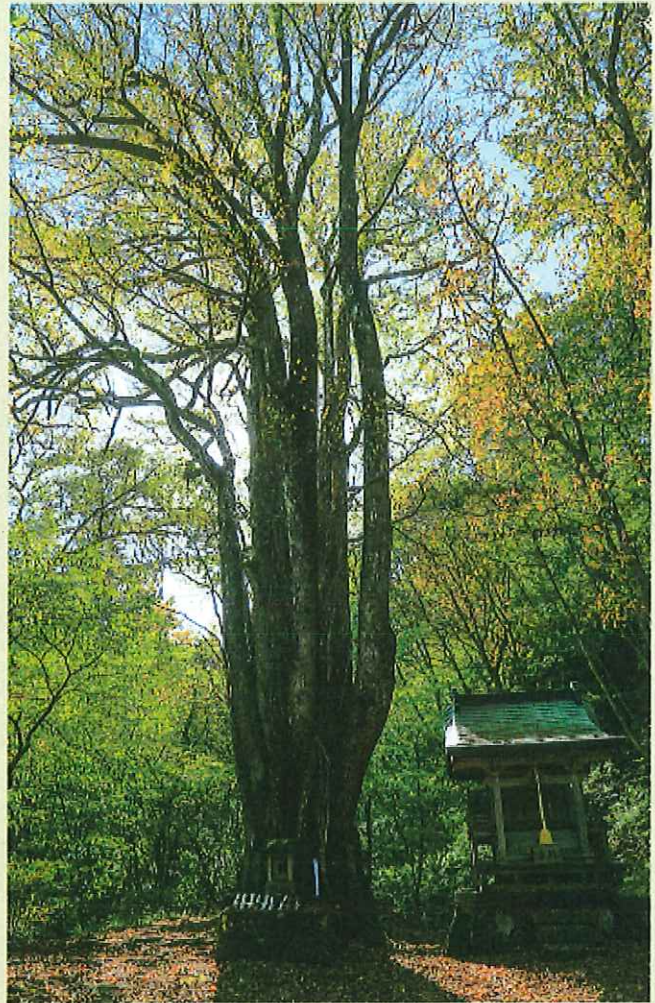
「事業報告」及び「決算」についての詳細は、
福島県社会福祉事業団ホームページ
(www.fukushima-sj.jp)の
情報公開ページでご覧頂けます。



けん かつら
剣 桂 (西郷村)

剣桂は、阿武隈川源流をたどるようにして走る旧国道289号線沿いにひっそりとたたずむ桂の木で、樹齢約370年、胸高周囲が6メートルと5メートルの二つの幹からなる樹高35メートルもある大木です。また、山仕事の安全と植生の繁茂を祈願し、祀られています。

「昔、この地に鬼神が出没し道行く人々を苦しめたので、白河城主・松平定信が、剣をもってこの木に鬼神を封じ込めた」という伝説が伝わり、「剣桂」と呼ばれています。この剣桂を神の依り代として祀る神社が剣桂神社です。



ご利用案内

太陽の国交流センター



- ◆ご宿泊
和室:7室 洋室:2室
- ◆会議・研修・休憩等
研修室または和室
利用時間 9:00~21:00

福島県勤労身体障がい者体育館



- ◆定休日
毎週火曜日・祝祭日
- ◆利用時間
9:00~20:00
フットサルの利用もOKです!

ボランティア募集

事業団では、多様なボランティアを随時募集しています。

お話し相手・習字・音楽演奏・イベントスタッフ・環境整備など活動内容は様々です。興味はあるけれど何をしたらいいかわからない方も、お気軽にご連絡ください。



このページに関する
お問い合わせ

事業管理部 施設事業課

☎ 0248-25-3020



まごころ 2021/VOL.77

発行 社会福祉法人福島県社会福祉事業団
 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字上上野原5-3
 TEL 0248(25)3100 FAX 0248(25)4659
 URL <http://www.fukushima-sj.jp>
 発行日 令和3年11月30日